



MS343-52003/4 リヤバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS343-52003-A1	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	シエンタ ' 18.09~
MS343-52003-C0	ブラックマイカ(209)	
MS343-52003-J0	ブルーメタリック (8T7)	
MS343-52004-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

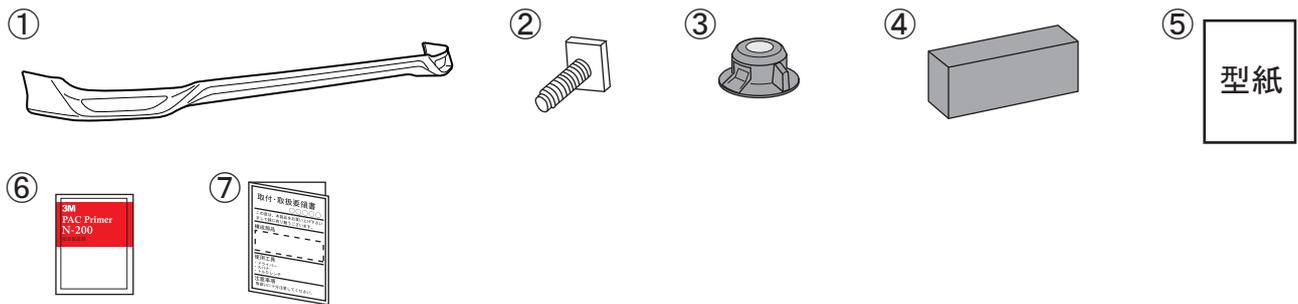
No.	品名	個数	備考
①	リヤバンパースポイラー	1	
②	スクエアヘッドボルト	2	
③	クリップナット	2	
④	クッション (マフラー出口部)	1	W10×L100×T15
⑤	型紙A、B	1	
⑥	PACプライマー N-200	1	赤袋
⑦	取付・取扱要領書	1	本書

以下、MS343-52004-NP (未塗装品セット) のみに同梱

No.	品名	個数	備考
⑧	ブラックアウトフィルム RH/LH	各1	
⑨	モール	各1	黒 / グレー :L=2200
⑩	PACプライマー K-500	1	青袋

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MS343-52004-NP (未塗装品セット) のみに同梱

モール⑨推奨使用色



塗装色 (色記号)	モール色
スーパーホワイトII (040)	グレー
シルバーメタリック (1F7)	グレー
レッドマイカ (3T3)	ブラック
ペーージュ (4V6)	ブラック
ワインテージブラウンパールクリスタルシャイン (4X4)	ブラック
エアーイエロー (5B6)	ブラック
ラディアントグリーンメタリック (6W9)	ブラック

■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1～2
2. 取付け・取扱いご注意（作業者様へ） 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 4
4. 取付け要項 5～10
5. 取付け完了後の点検、注意事項 10

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー
- ・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・保護メガネ
- ・電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/10.0mm）
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイテガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

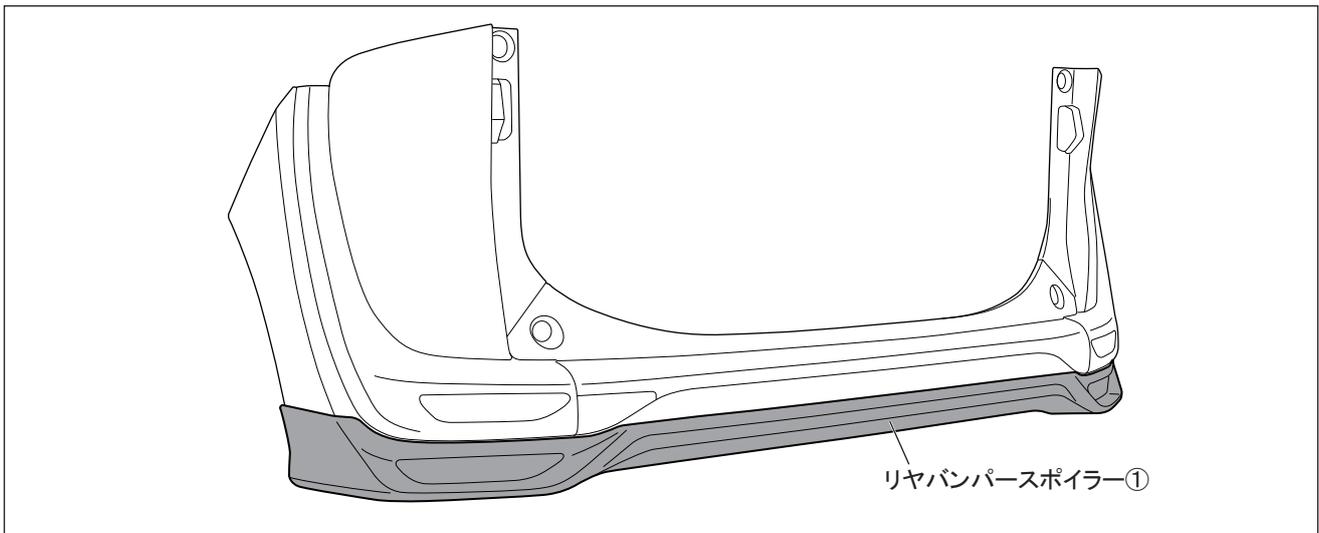
■ 本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



塗装済み品の取付けは、6ページ【リヤバンパースポイラー取付準備】に進み作業を行なってください。

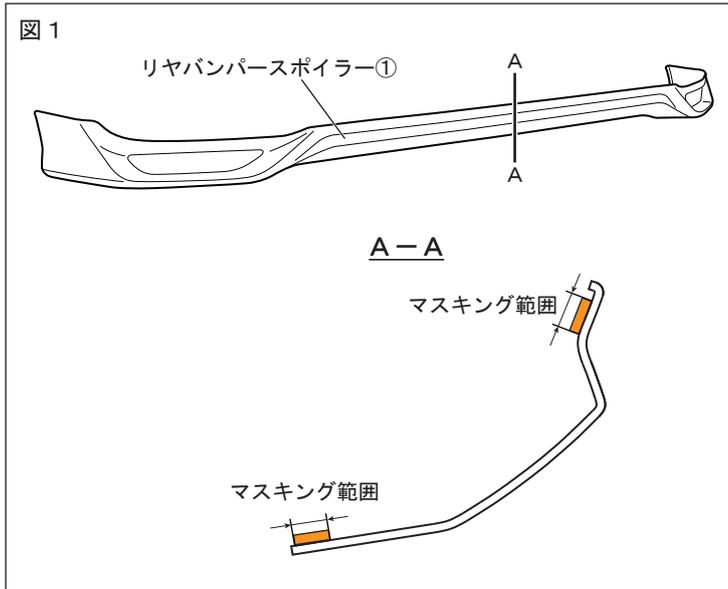
■未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MS343-52004-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□リヤバンパースポイラーの塗装

1. 図1のようにリヤバンパースポイラー①を車両色で塗装する。



△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

△警告：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下IPAという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

□モールの貼付け

1. 図2のようにモール⑨貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみPACプライマーK-500⑩を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

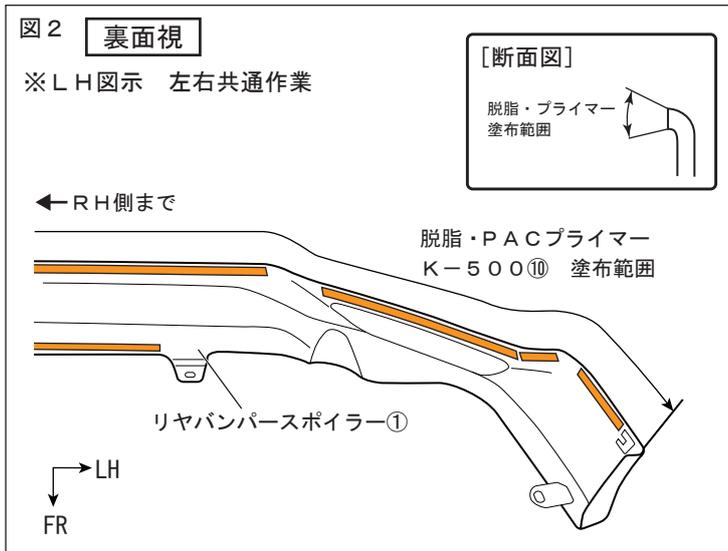
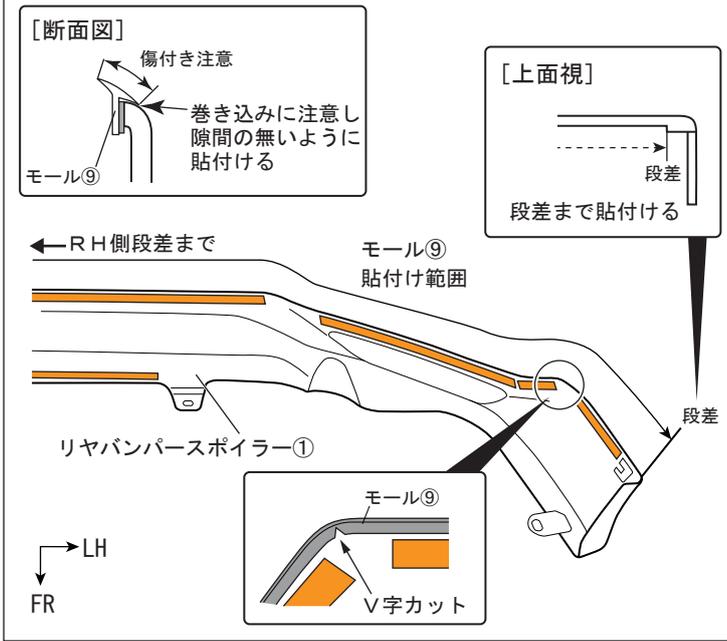


図3 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

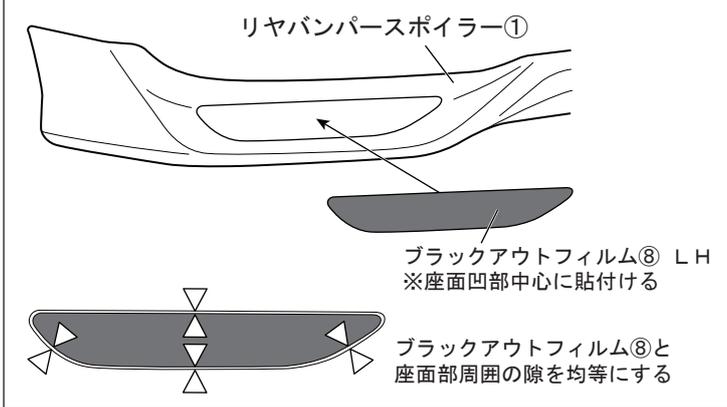


2. 図3のようにリヤバンパースポイラー①にモールド⑨の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。
モールドは長めに設定されているので、長さ合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：モールド⑨は、二色同梱されています。塗装色に合わせてモールド色を選択し貼付けてください。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

図4 ※LH図示 左右共通作業



3. 図4のようにリヤバンパースポイラー①左右の座面を脱脂し、ブラックアウトフィルム⑧を貼付け圧着する。(左右各1箇所)

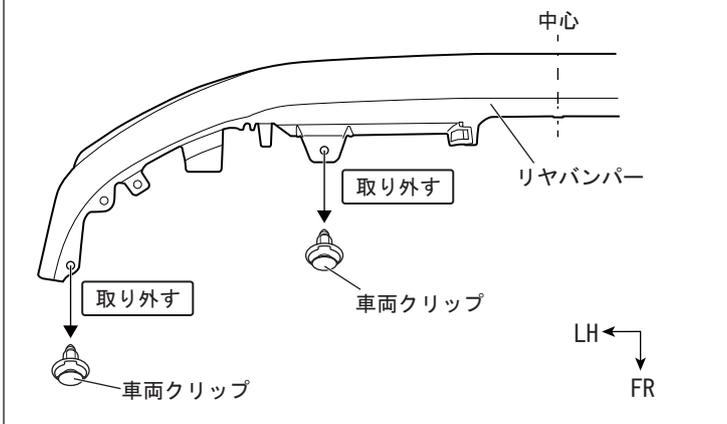
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

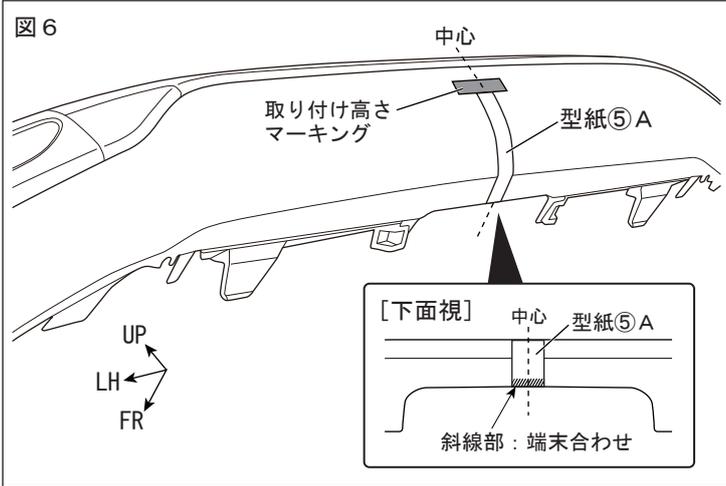
□リヤバンパースポイラー取付準備

1. 図5のようにリヤバンパー下面の車両クリップを取り外す。(左右各2箇所)

△注意：取り外した車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

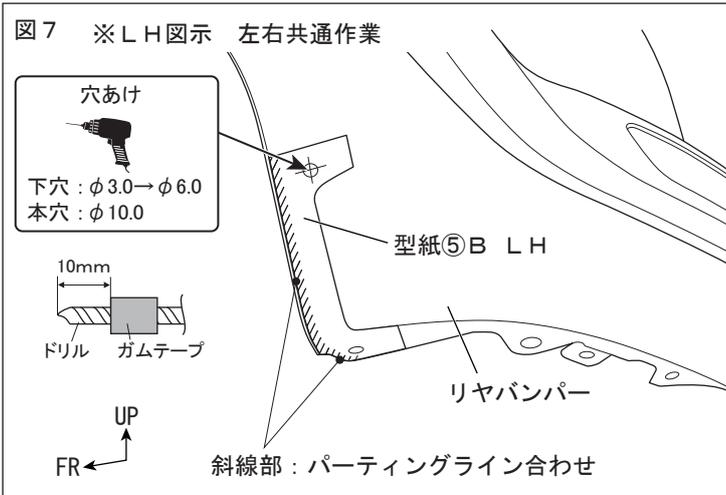
図5 ※LH図示 左右共通作業





2. 図6のようにリアバンパー後面に型紙⑤Aを貼付け、リアバンパースポイラー①取り付け高さ位置をマスキングテープ等でマーキングする。

3. 型紙⑤Aを剥がす。

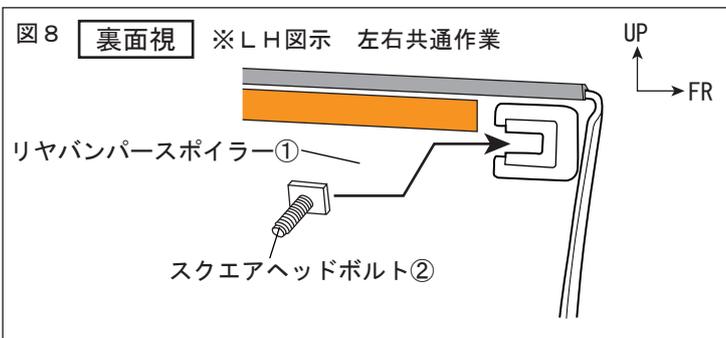


4. 図7のようにリアバンパー側面に型紙⑤Bを貼付け、穴あけ位置に合わせて下穴を $\phi 3.0 \rightarrow \phi 6.0$ の順であけ、 $\phi 10.0$ の本穴をあける。(左右各1箇所)

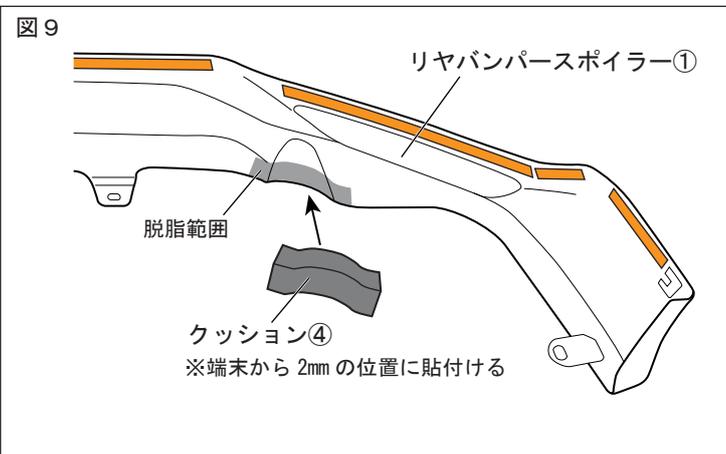
👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

5. 型紙⑤Bを剥がし、バリを除去する。



6. 図8のようにリアバンパースポイラー①にスクエアヘッドボルト②を取り付ける。(左右各1箇所)



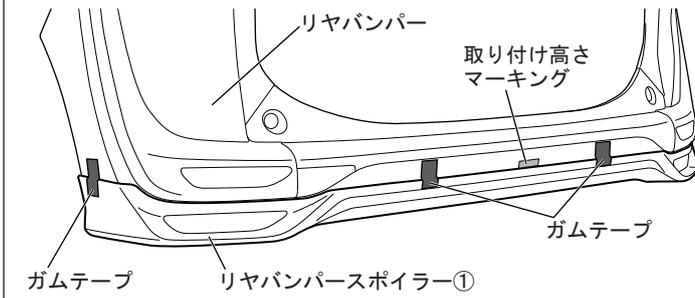
7. 図9のようにリアバンパースポイラー①裏面のマフラー出口部周囲の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂し、クッション④を貼り付ける。

⚠️ 注意：車両によりマフラー出口の位置が異なります。クッションテープ貼付け位置は、車両のマフラー位置に合わせて貼付けてください。

⚠️ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

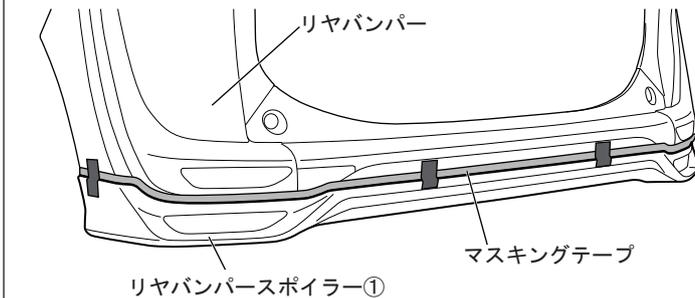
👉 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図 10



8. 図 10 のようにリアバンパーにリアバンパースポイラー①をかぶせ、リアバンパースポイラー①のモール上端を側面の取り付け高さマーキングに合わせてガムテープ等で仮固定する。

図 11

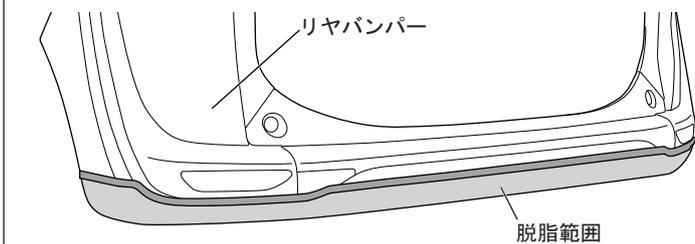


9. 図 11 のようにリアバンパースポイラー①のモール上端に合わせてマスキングテープを貼付ける。

△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

10. リアバンパースポイラー①を取り外す。

図 12

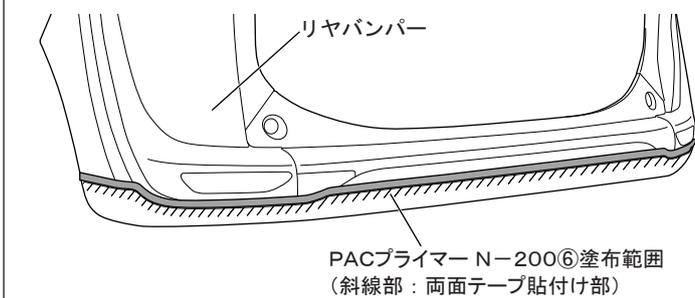


11. 図 12 のようにリアバンパースポイラー①の両面テープ貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図 13

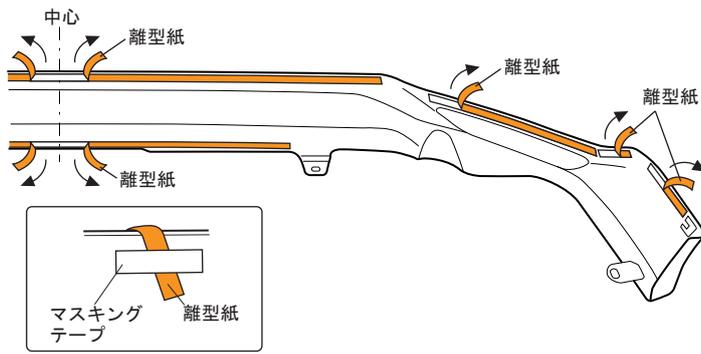


12. 図 13 のようにリアバンパースポイラー①の両面テープ貼付け部（左図斜線部）にPACプライマーN-200⑥を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

13. マスキングテープを剥がす。
※取り付け高さマーキングは剥がさないでください。

図 14 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



14. 図 14 のようにリアバンパースポイラー①の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

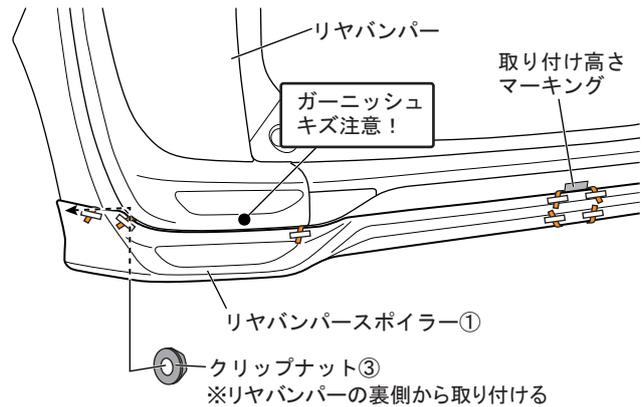
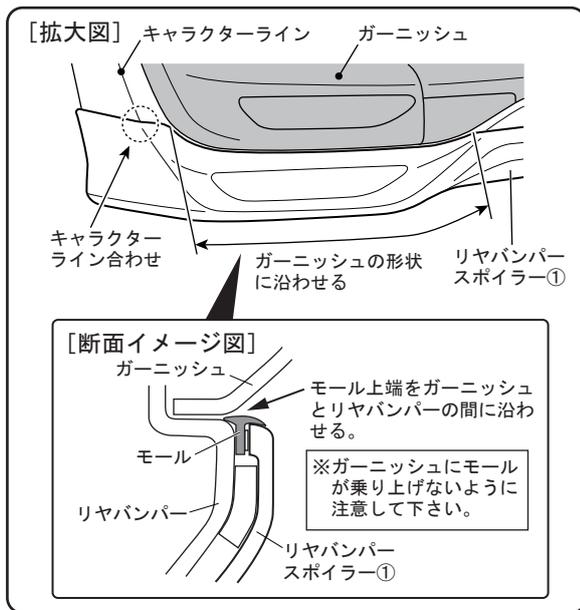
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

ロリアバンパースポイラーの取付要領

1. 図 15 のようにリアバンパーにリアバンパースポイラー①をリアバンパー側面の取り付け高さ位置マーキングに合わせてかぶせ、側面をクリップナット③で仮締めする。

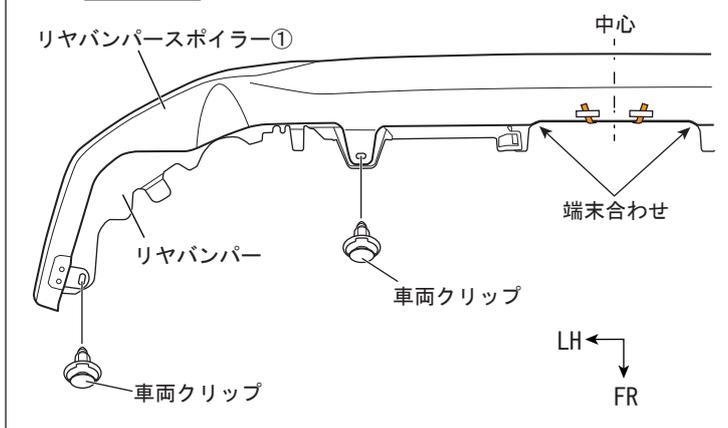
△注意：リアバンパーガーニッシュに傷を付けないように注意しながら作業してください。

図 15 ※LH図示 左右共通作業



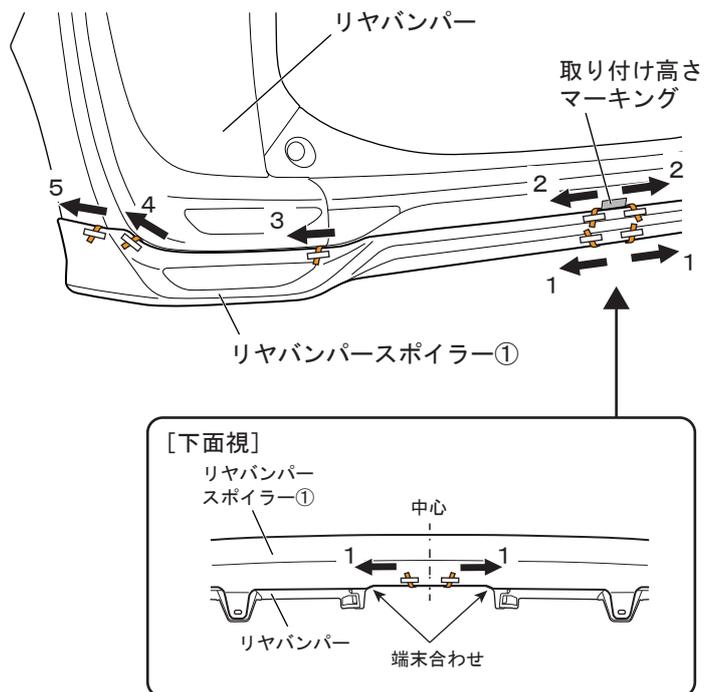
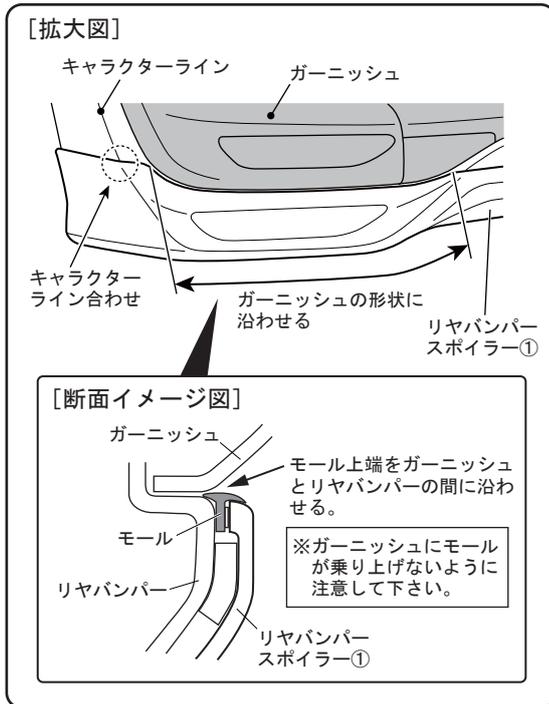
2. 図 16 のようにリアバンパースポイラー①下面を車両クリップで固定する。(左右各2箇所)

図 16 下面視 ※LH図示 左右共通作業



3. 図 17 のように各部の位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

図 17 ※LH図示 左右共通作業



アドバイス: 圧着の際は、リアバンパー裏側に手を入れて表裏双方からしっかりと圧着してください。

注意: 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3~5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

4. 側面のクリップナット③を本締めする。（左右各1箇所）
5. 中央の取り付け高さマーキング（マスキングテープ）を剥がす。（1箇所）

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びリアバンパースポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地
TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122
<http://www.trdparts.jp/>

